

【地域人材を活用した授業③】

・令和6年9月6日（金）『胆振防災教育デー』

6年前の平成30年（2018年）9月6日、3時7分に発生した「北海道胆振東部地震」、この地震は、震度7が北海道で初めて観測された地震でした。被害も大きく、みなさんの記憶にも残っていると思います。

この地震を機に、胆振地方では、9月6日を「胆振防災教育デー」とし、各小中学校で防災に関する取組を行っています。

凌雲中学校では、苫小牧市市民生活部危機管理室より 北構 孝悦 様を講師にお招きし、『苫小牧市で想定される自然災害とその備え』について講話をいただきました。



最近の集中豪雨などのお話があり、「知っていること（知識）は安心感につながる」や樽前山の噴火について現在の対策などの説明がありました。

また、苫小牧市の「防災ハンドブック」は各家庭に一冊あるので、しっかりと読んでくださいと最後にお話がありました。苫小牧市の災害備蓄水を全校生徒に配布していただきました。

